

百里基地・茨城空港対策特別委員会会議録

招集年月日	平成29年12月19日(火)	午前10時
会場場所	議会委員会室	
出席委員	笹目雄一委員長、藤井敏生副委員長、荒川一秀委員、関口輝門委員、大槻良明委員、長島幸男委員、石井旭委員、植木弘子委員、鈴木俊一委員、村田春樹委員、市村文男議長	
欠席委員	無し	
職務出席者の職氏名	島田市長、小松都市建設部長、秋元基地対策課長、大原課長補佐、山口産業経済部長、小川空港対策課長、富田書記	
協議事項	1. 百里基地に関する報告について 2. その他	
会議 (発言等の要旨)	<p>開 会 午前10時</p>	
藤井副委員長	<p>皆さんおはようございます。今日は百里基地・茨城空港対策特別委員会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。只今より開会いたしたいと思います。まず、笹目委員長よりご挨拶をいただきます。</p>	
笹目委員長	<p>皆さん、あらためましておはようございます。本日は百里基地・茨城空港対策特別委員会を開会いたしました所、委員の皆様方にはお忙しいなかご出席をいただきまして誠にありがとうございます。この百里基地・茨城空港対策特別委員会でございますが、10月上旬にF-4の火災事故がございまして、市長、議長、それから私と、基地周辺の長島委員長と4名で百里基地のほうに要望に行った所でございます。また、11月29日には市長及び議長で防衛省へ要望活動に行ったわけでございますが、本来でしたら要望事項については、この委員会を開催して内容をご相談したいところではございましたが、時間がございませんでしたので、議会運営委員会で内容を審査しまして要望活動に行っていたわけでございます。今日はそれらを含めまして、これまでの経緯につきまして執行部より説明があると思いますが、皆様方の慎重な審議をお願い申し上げまして、冒頭の挨拶といたします。</p>	
藤井副委員長	<p>ありがとうございました。続きまして、市村議長よりご挨拶いただきます。</p>	
市村議長	<p>皆さん、おはようございます。朝早くから大変ご苦勞様でございます。30日から開会をいたしました今定例会いよいよ明日が閉会ということになりました。今日は百里基地・茨城空港対策特別委員会ということで、大変ご苦勞様でございます。只今、委員長からありましたようにF-4の事故、そしてその他の件について防衛省あるいは百里基地に行ってきたわけでございますけれど、そういう中で周辺5市町の連携を図るべく、協議会等を作ったほうが良いだろうという提案をさせていただきまして、市長もそれが良いよということで、その場ですぐ、防衛省内でございましたが茨城町・鉾田、行方、かすみがうらに声をかけていただいた経緯がございまして、その準備を執行部が進めており、出来上がったのかなと思っておりますが、その辺の説明もあると思いますが、皆様方の慎重なご審議、ご意見をいただいて進めたいと思います。今日は大変ご苦勞様です。</p>	
藤井副委員長	<p>ありがとうございました。続きまして、島田市長よりご挨拶いただきます。</p>	
島田市長	<p>あらためておはようございます。本日は百里基地・茨城空港対策特別委員会ということで、明日閉会を迎えての忙しい時期に開会され誠にご苦勞様でございます。また、ここ一週間大変寒くなっておりまして、今日も今年一番の冬の寒さが肌で感じられたのかなと思っております。そういうなかご参加頂いて開会され誠にご苦勞様でございます。只今、委員長、議長からありましたように、百里基地内での事故、更には今回中止にはなりましたが、それでも観閲式にあたってのオスプレイの問題、更には正式に話はございませんけれども、</p>	

B1・B2の爆撃機が飛来するよというような話しもあったということで大変心配されたことがあったわけではありますが、実際中止になってそのようなことがなかったということでございますが、地元としてはやはり事前に報告通知がほしいというような話しもたくさんあったわけですので、そういうものを受けて議長のほうからも提案がございました。即防衛省のほうに基地のほうにということで要望活動を展開したわけではありますが、特に私の日程に合わせたということで防衛省のほうには大変忙しい思いをさせてしまったわけではありますが、要望活動が出来たということで良かったなと思っているところでございますが、これからもそういう問題は適切に対応していかなければいけないというわけですので、こういう場で議論になろうと、そして我々もそういう意見を受けて今後の対応というものを考えていかなければいけないと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。また、組織作りについても話ありましたが、大変周辺の声かけられた議長、首長さんもいいことだよというような話をされたということもございまして、この問題積極的に取り組んでまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。本日は誠にご苦勞様です。

藤井副委員長

ありがとうございます。早速協議に入りたいと思っております。協議の進行を笹目委員長お願ひします。

笹目委員長

それでは、早速協議に入ります。協議事項1、百里基地に関する報告について議題といたします。執行部の説明を求めます。

秋元基地対策課長

あらためましておはようございます。それでは私のほうから11月29日に実施しました防衛省及び百里基地対策に関する要望、11月30日に百里基地への要望運動などの経緯につきまして順をおって説明させていただきます。資料の百里基地対策に関する関係自治体及び市町議会による要望運動の経緯について、参考資料を同時に見ながら説明をさせていただきますので、よろしくお願ひします。まず、1ページをお願ひします。

1、平成29年10月18日

百里基地内において、百里基地所属F-4EJ改戦闘機の火災事故発生。F-4戦闘機が滑走路に向う際に主脚が折れ、主翼と燃料タンクの一部が地面に接触したことから誘導路上で出火。パイロット2名は脱出。約20分後に消化。ということでございます。参考資料1ページ2ページに火災事故の記事が掲載されております。

2、10月18日

百里基地へ小美玉市及び小美玉市議会から島田市長、市村議長、笹目百里基地・茨城空港対策特別委員会委員長連名による飛行訓練自粛の申し入れを実施。また、同時に、長島百里飛行場周辺整備協議会長から飛行訓練自粛の申し入れの実施。ということで、参考資料3ページから5ページについてがその内容でございます。5ページ目につきましては、百里基地に申し入れた際を広報おみたま11月号に掲載されたものでございます。

3、10月25日

防衛省から17時発表により、「防衛省移行10周年記念航空観閲式について」の主催者及び部隊の参加規模が示され、米海兵隊MV-22オスプレイが観閲式前の事前飛行、当日の祝賀飛行も予定されている旨も示された。と連絡がございました。参考資料6ページのお知らせによりその記事がございました。

4、10月26日

市民から基地対策課に以下内容の問い合わせがございました。

「航空観閲式におけるオスプレイの祝賀飛行及び事前飛行について、市は市民に何らかの形で周知しているか。これまでオスプレイが事故を起こしているのだから、防災無線等を使って周知すること。」というような問合せがございました。それを受けて基地のほうとしては、北関東防衛局に口頭要請している旨を話し、百里基地にも強く要請している旨を話し、市民周知はしない旨を伝えたところでございます。

5、10月28日

航空観閲式前日、米空軍のB1・B2戦略爆撃機が式に祝賀飛行する旨が新聞に報じられました。これにつきましては資料7ページの記事でございます。

6, 10月29日

天候不良のため航空観閲式中止, オスプレイ, 爆撃機の飛来なし。参考資料7ページに航空観閲式中止の記事が掲載されています。

7, 11月上旬

F-4戦闘機の火災事故や航空観閲式における爆撃機飛来情報の連絡体制の不備等を踏まえ, 百里基地が所在する小美玉市がとりまとめをおこない, 百里基地周辺自治体及び市町議会が足並みを揃え, 防衛省, 百里基地に対しての要望意向を各市町, かずみがうら市, 行方市, 鉾田市, 茨城町に伝えた。要望日については, 11月29日が在日米軍再編6基地協議会の防衛省への中央要望であったため, 中央要望前に百里基地対策に関する要望を実施することとした。

8, 11月29日

百里基地周辺5市町, 小美玉市, かずみがうら市, 行方市, 鉾田市, 茨城町の首長, 議会議長による防衛省へ要望実施。資料8ページから11ページまでが要望書の内容でございます。

9, 11月30日

百里基地周辺5市町, 小美玉市, かずみがうら市, 行方市, 鉾田市, 茨城町の首長, 議会議長による百里基地へ要望実施。参考資料12ページから15ページが要望書でございます。

10, 12月4日

報道機関へ要望実施の情報提供のなげこみを行いました。土浦記者クラブ, 東京新聞水戸市局, 朝日新聞社, NHK水戸放送局。

11, 12月5日

東京, 朝日, 読売の各新聞に掲載され, NHKで放映された。資料16ページがその記事でございます。なお, 今回の要望を踏まえまして, 今後, 百里基地における航空機問題等に関し, 百里基地周辺の行政及び議会関係者が相互の連絡体制を密にして, 問題の解消を図ることを目的とする百里基地周辺5市町連絡会発足について, 関係5市町議会小美玉市を含めまして, かずみがうら市, 行方市, 鉾田市, 茨城町に諮っていきたいと考えておりますので, ご報告させていただきます。以上で要望の経緯につきまして説明を終わらせていただきます。よろしく申し上げます。

笹目委員長

ありがとうございました。今細かく説明がございましたが, これらの件につきまして皆様方ご意見等がございましたらよろしくお願ひしたいと思ひます。

石井委員

市長さんはじめ議長さん今委員長さんが対応してくれたということで, 十分この件についてはありがたいと思うのですが, 広報おみたまによってわたしも申し入れをしたというのが分かったんですが, 本来であれば特別委員会をそのあとでも結構なので, ホームページに掲載して頂いたり, また, 事務局としましても議員には報告道理的ではなかったかなと思ひます。完全にこの4番5番にあるように, オスプレイについても米軍が飛ぶということも防衛省からも基地からも何の話もないということは, 市民私を置いてきぼりにしている状態だと思うんですね。そういうなかでこれはすごく酷いなと思ひます。そういうことに対しても基地に対してあるものであるので反対ではないんですが, やはり訴えることは一番大事だと思うので, 早めの情報知らなかったで済むことではないと思うんですね市として。そういうなかで, 今後要望されて書類は今雑駁で見えていないので申し訳ないのですが, 10月18日の申し入れをしたときに, 自肅の申し入れということでなっていますが, その後, 今後ほんとに自肅して飛ばさないような対応があったのか, また, 今後も観閲式又は航空祭とかあると思うのですが, こういったときにオスプレイとかこういうものが全然飛ばないとかこういう確約とかはとってあるのでしょうか。ただ申し入れただけで対応等の回答はあるのでしょうか。

秋元基地対策課長

石井議員の質問にもありましたけど申し入れにつきましては, F-4の主脚が折れた場合のときには安全確認がされるまでというよりも, 非破壊検査を行って安全確認がされるまで飛行はしない訓練はしないという内容のものを基地のほうからいただきました。また, オス

プレイにつきましては、3年前の航空観閲式には来ているものがございまして、それにつきましても口頭で飛ばないでくれとそのような話しは基地のほうには申し上げたところでございます。

石井委員

只今の説明では安全確認がとれるまでということ、その安全確認というのは基地のほうでとるだけであって、では市としてはそれが安全だとかそういう勉強というのはあれなんですけど、どういう形で市のほうで確認をするのか、そういう手続きはしているのかなと。ただあちらで安全だと言われても、安全じゃないから飛んでいるものを安全とは思えませんので、規定は市としても対応するのに何かしらほかの基地でもやっているかと思うんですが、そういったこと免許を取りながらそういう事故があったときに、沖縄にかければ分かるのではないのかと思うんですけど。そういう対応をしていただきたいのと、今のオスプレイの件については要望したじゃなくて、わたしは飛ばないということで対応はどういう対応で飛ばないという、そういう観閲式とか航空祭は飛ばないというような対応をしてくれているのかと質問しているんですよ。こちらで言ったことじゃなくて、基地とか防衛省のほうの対応で飛ばないという書類を貰えるのか、そういうような対応になっているのかという質問をしたんです。

小松都市建設部長

今秋元課長から説明したように、こちらで自粛については要望はしておるのですが、具体的に防衛省のほうからそれについて書面とかそういうものでもって飛びませんとか自粛しますというそういう回答はいただいておりません。ご理解願いたいというレベルのお話だけで、すぐに飛ばないようにしますとかそういうふうな形で書面とかそういうものでいただいているものはございません。

石井委員

残念ですね。やはりそれがなければ要望しただけであって、何のその後の対応には続かないと思うんですよ。やはり書面でいただくとか、今回は飛ぶ前だったから良かったんですけども、飛んでからであったら当然市のほうでも大惨事になったと思うのですが、近隣の市民が小美玉市だけではないと思うんですけどね、そういうなかでその後もやりとりを常に基地対策ということで担当もいると思うのですが、それがされていないというのはこれ10月ですよ。2ヶ月も経っていてそれが無いというのが、市長はじめデータベータのほうは分かりますが、その後何回も回答いただけるように何度も職員がまだ行けると思うんですよ。行ってもらったり文章でのやりとりも出来ると思うので、そういうのを毎月というのもおかしいんですけどね、回答いただけるまでやっていく。又これ市民にももう少し区長さん方で結構だと思うんですけども、そういうことで説明を考える必要があると思うのですが、そういうことは区長会とかにはされているのでしょうかね。

小松都市建設部長

今回の件に関しては、申し訳ございません。特に区長さん方のほうにもあらためて情報提供は出来なかったというのが実態でございます。今後、こういうことが頻繁にあってはよろしくないわけですが、今後もしこういった類のことが起こった際には、出来るだけ関係する方々に広く速やかに情報伝達してまいりたいというふうに考えております。よろしくお願いします。

石井委員

そのようなことで対応のほうはしていただきたいと思ひますし、要望としまして今後は定期的というのをおかしいのですが、言い方も分からないので対応といいますか事務局としまして市のほうで、防衛省、又、基地とのやりとりは最低でも1、2回は行って、今後、今も実際どうしているのかハッキリはしないのですが、飛行が移されるかも分からないので、いままで連絡がないということが多いため、こちらから定期的に2週間に一回とかその辺は分からないですけど、基地のほうに行って状況はまだ分からないかもしれないんですけど、こちらから行って早め早めに対応していただいたということが一番市民も安心だと思うので、今後、又、こういうことがあるんじゃないかというのは誰も心配じゃないですか。年数も経てば又、消えてしまつて安心したなかに事故が起こると思うので、市としましてもしっかり対応、それがすぐ飛ぶか飛ばないかは別かもしれないのですが、何度も行ってどうなっ

ているんだということで、回答が出るまで続けていっていただきたいと思います。要望とします。すみませんでした。

小松都市建設部長

ご要望でございますが、出来るだけ努めてそのように連携といたしますか、密にしていきたいと思います。それからさきほど申し上げたところ抜けましたが、事故当時の状況については、区長さんに直接の連絡は出来なかったのですが、いわゆる基地周辺整備協議会の会長の所には速やかに事故発生後連絡をさせていただいたところでございます。そちら会長さんのほうから一定のエリアのところには連絡が行ったものかなというふうには認識してございます。よろしくお願いいたします。

石井委員

はいすみませんでした。

笹目委員長

ほかにごありますか。

長島委員

今、石井議員とだいたい同じようなことなのですが、事故があった翌々日かな、茨城新聞に銚田市が出たんですね写真入りで申し入れをしたということでね。早速、私のところにも元議員やっていた方ともう一人の方が小美玉ではどうしたんだろう、行っているのかなというような電話がありました。私もその件分からないので市のほうに問合せると、多分議長に連絡したかなと思うんですが、当日市長、議長、その他周辺の協議会会長と行って来たよというふうなお話があったんですが、やはり市民のほうは新聞等で隣の銚田市が写真入りで出たんで、小美玉市ではどうしたのかなというふうな考えをもった方が多いと思うんですね。これは新聞記事ですから新聞社のことで小美玉市が当日行って申し入れをしたというのが分からなかったのですが、さきほどお話しましたように、議員の方にはそういうふうなお話はしていただきかけたかなと思うんです。それとこの申し入れ、事故の原因これは基地のほうから連絡があったのですかね。

秋元基地対策課長

原因につきましては、百里基地のほうからいまお知らせという紙ベースで貰っているものがございまして、10月18日11時47分ということで、主脚の部分の不具合により火災が発生、同時刻異常を認めた操縦者2名が機外へ脱出をしてということで、12時08分に消火活動、現在のところ被害の状況はなしということで、それについてF-4の非破壊検査を実施したということでございました。

長島委員

それは事故の経過でしょ。そのあと申し入れということで、原因が解明されるまで飛行訓練の自粛を申し入れますというようなことで申し入れしたわけですよ。ですからこの原因解明これのほうの報告というか、お話があったかというのを。

小松都市建設部長

事故後の時間を追ってまいりますとさきほど説明したように、まず、10月18日11時47分頃に主脚が折れ火災が発生したという事故後基地からまずは第1報でちょうど正午頃ですか、司令から市長に直接火災が発生したということで連絡がございました。これは電話連絡でございます。その後、その直後に基地から基地対策課のほうへも火災が発生したという報告でございました。この時点ではまだ詳しいこういうことが原因で主脚が折れたという原因そのものは、まだ事故の最中起こったばかりだったので説明がなかったのですが、その後、この日の14時頃に基地のほうから副司令が市長のところに説明にまいりまして、そのなかで事故発生の経緯というところがございました。そのなかでは、こういうわけで折れたというところまでの細かい所は即日のなかだったので、詳しくは状況説明はなかったのですが、ただ折れて機体が地面に接触した関係で火災が発生したというその程度のそこでは内容だったのでございますが、その後その機種含めてほかの基地にある全部の機種を非破壊検査でもって全機点検をし、ほかの機種については特に問題がなかったという点検を済ませて安全を確認した上であらためて飛行再開したというふうな状況の話がその後2日後にございました。最終的には火災が発生した機種そのものの今後については、基本的にはその部分の金属疲労と申しますか、そういうふうな部分になるのかなというふうな状況で

ございますが、詳しいというかそこら辺までが説明を受けた原因といたしますか状況でございます。

長島委員

それはいつ頃の時期、翌日報告があったときなんですか。

小松都市建設部長

報告はまず基地のほうではその日の事故発生の午後2時に、最初に事故が発生したという報告が来たのは発生日当日の午後2時頃です。その原因究明についてきちんとやっていきますというそのなかでお話を基地のほうからいただいて、具体的には翌々日の20日にこういう形で全機点検をするという説明がございました。非破壊検査により全ての機種 of 点検を行うという話しがございました。点検を済まして異常のないものから順次飛行を再開するというようなことでもございまして、そのなかでも市長のほうからくれぐれも再開にあたっては慎重を期すよう安全点検を十分に行うようにということで口頭でお話をさせていただいたという状況でございます。

長島委員

分かりました。このF-4というのは古い戦闘機なんだよね。ですからほんとによく整備をやらないと難しい。私も今お話したような話はどこかで聞いたんだよね。この事故があったあと全機種点検したということで、でもこういう老朽化した戦闘機が飛んでいては危ないよな。だから、そこら辺さきほど石井議員からも話したように、もう少し私もこう思っているんですが、百里基地に申し入れというのも年1回これ儀礼つきなような形になっていると思うんですよ。ですから、そうではなくてしょっちゅう行っているような細かいことでも情報を密にして、そうすると人間ですから基地の隊員さんでもいろんなお話をしてくれると思うんです。それと市民の声もこちらからいろいろ市に関しては出ているんですね。私も周辺におりますから。ですから、そういうことをこまめにお話していただきたいと思うんです。ですから年1回じゃなくて担当部署があるんですから課長、係長よく連絡をして今後そういう形でお話ししたいと思います。以上です。

笹目委員長

ほかにもございますか。

関口委員

私は要望書を出したときに、おそらく百里基地に行ってお話し合いをしてもらうと思うんですよ。その内容等については、ある程度この辺までは善処しますよというようなそういうお話はあったのか、そして回答がないと言ったよね。回答がないというのは、いつまでに善処策を出してくれるのかというような要望もしているのか、その辺の日付をお聞かせ願いたいと思います。

秋元基地対策課長

今のご質問でございますが、行って口頭でのお話でしかもらっていないので書面でもらっていませんので、次回からは書面をとおしていただくようなことで要請したいと思っておりますのでよろしくお願いします。

関口委員

そのときは、全然そういうお話しはしていないんですね。善処策についてこうしますよ、あるいはいついつまでに善処策の回答をしますよというような、そういうお話し合いはしていないのですか。

小松都市建設部長

具体的にこういう対策をしますいついつまでにというそういう具体的なお話しは回答は出ていませんが、こういう事故で非常に周辺に大変なご迷惑をかけて大変申し訳なかったというお詫びの言葉がありまして、そのなかで、今後こういうことがおこらないように十分安全対策、点検管理そういったものに気をつけてまいりますというレベルのお話は当然そこで口頭での回答はいただいておりますが、それをどういう形でいつ頃までに絶対こういうことがないようにこういう方向でやりますというところまではいただいておりますので、そういうふうな部分を今後我々も基地と働きかけを行ってそういう回答を具体的に受けてまいりたいというふうに考えてございます。

関口委員	<p>具体的に申し上げますとこの経過を見ますと、全然周辺の市町村には連絡がなくいろいろな配慮をするとかそういうことを勝手にやってくるわけだよね。だからその辺の回答については今後はいろんなことがあれば、周辺の市町村にはこのようにお伝えしますとか、そういう約束ぐらいは出来ると思うんだよね。それともうひとつは、米軍再編の補助金あれとの関連もあるの。米軍再編のお金が来ていますよね。だから少しは我慢しろとはそういう考えはあるのかな。その辺の見解はどうですか。</p>
小松都市建設部長	<p>まず、最初のお話の周辺市町との絡みのなかでは、今後まさに小美玉市が基地所在市町の一番おおもとなるわけですが、さきほど議長のほうからも冒頭ご挨拶でもありましたように、今回の一連の活動を受けまして、今後、小美玉市を含む周辺5市町という今までそのなかでこういう働きかけをするような組織体制出来ていなかったものですから、その辺の組織を1市町単位で基地あるいは防衛省に言うということではなくて、5市町がひとつの組織として今後、国に働きかけを行っていろいろやりとりを更に強めていこうというなかで、今組織作りの準備を進めているところでありますので、まず、そういったなかで今後、具体的にただ形だけの要望、回答という形だけではなくて、具体的に今後こういうことへの対処又連絡体制そういったものを含めての組織作りというのを今後考えて出来るだけ早いうちにこの立ち上げを行いたいということで考えてございます。それともう1点の再編交付金をもらっているからというこれはもう全然ございませんので、だから我々も下手に出ているとかそういうことでは決してございませんので、これはそのようにご理解いただきたいと思ます。</p>
関口委員	<p>今、沖縄でも騒がれていますよね。小学校のところに窓が落下したなんていう。そういうのも解決しないなかで又、飛行機が飛ぶなんてことになっていきますよね。とにかく住民の皆さんは安心安全で暮らせるようなそういう対応を頑張っていかなければいけないと思うのですよ。よろしくをお願いします。</p>
小松都市建設部長	<p>分かりました。</p>
笹目委員長	<p>ほかにございますか。</p>
鈴木委員	<p>順番を追って確認したいのですが、1ページ3番のオスプレイの観閲式前の事前飛行が予定されたのが10月25日防衛省から17時に発表されていると思うのですが、これは防衛省から小美玉市とか百里基地からとか何か市にも連絡があったのでしょうか。</p>
秋元基地対策課長	<p>参考資料の6ページに防衛省からのお知らせというものがございまして、一番下のその他、関連行事ということで、防衛省から示されたものでございます。</p>
鈴木委員	<p>これは市にこの書類がきて、この書類1枚でこういうことがあるということであっただけですか。</p>
秋元基地対策課長	<p>そのとおりでございます。</p>
鈴木委員	<p>この書類でオスプレイが来るのが示されたということが分かりました。そのあとの26日に今度市民からの問合せで、事前に防災無線等を使って周知してほしいというのが出ているんですけれども、これで市民の方は要請する旨で納得されたのですかね。</p>
秋元基地対策課長	<p>これにつきましては、納得はしていないでしょうけれども、分かったということで電話は切りました。</p>
鈴木委員	<p>オスプレイが来ると事前に分かっていたら、不安に思う人もいるからこういう発表になったのかなと思うんですけれども、28日の所でB1・B2が来るのを見て私もびっくりした</p>

ところなんですけれども、これですと、日本では国会で「核兵器持たず・作らず・持ち込ませず」という三原則があると思うんです。だけどNHKスペシャルで核は持ち込まれていたという報道があったのであとで調べていただければ私も観てビデオ撮ってあるんですけども、核兵器は日本に持ち込まれていると。沖縄返還に際して持ち込んだ兵隊さんが出てきて、これで私核兵器を沖縄に持ち込んだということを言っているのをNHKで観た記憶があるんです。そうすると、最後の16ページの新聞報道で、核兵器を搭載することが出来るということが書かれているのですよね。そうすると核兵器は持ち込まれていて搭載するとなると、こういうB1・B2・オスプレイに対して自衛隊ではなくて、アメリカ軍がこういうことをやる時に、小美玉市では非核平和宣言都市と出していると思うんです。回答もらうということ以前に市の態度としてハッキリ核兵器は持ち込まれているという前提に立って、市の対応として三原則を国で最初に国会決議したんですから、「核兵器持たず・作らず・持ち込ませず」を徹底するために市の態度としてこれをハッキリ出していくのか、それとも米軍再編基地の予算のこともあると思うのでその辺はおおらかにしていくのか、市の態度を徹底して小美玉市ではそういうオスプレイにしてもそうですし、B1・B2が来るというのを知らされていなくても、うちの市では受け入れませんよと態度表明することも出来ますし、その辺の態度、受け入れないのか受け入れるのか、そういう方向性を前もって市として宣言しとけば、小美玉市の百里基地には受け入れてもらえるんだという訓練も出来るんだ、又は受け入れない市なのかというのも分かると思うので、この市の対応として特に核兵器搭載出来るような飛行機が百里基地に来るということに対して、態度をどういうふう考えているのか今のところの考えをお聞きしたいのですが。

小松都市建設部長

これはなかなか現時点でこうだという明確な所を執行部再度のほうで言える時限ではないのかなというふうには思っております。これの根本的な問題の部分、市政そういったものについては、今後、議会の皆様とも議論を重ねていきながら方向性を見いだしていきたいというのが今、申し上げられることかなと、具体的に賛成か反対か二者択一的な発言は控えさせていただければというふうに思いますのでよろしくお願いします。

鈴木委員

市民が安心できるようにもし来る、受け入れるといっても、市民が安心して受け入れられるような法策を練っていただきながら、又、宣言してハッキリ小美玉市では百里基地の核兵器搭載するのは百里基地はもちろん受け入れますよと、百里基地の自衛隊の人も頑張って日本を守って下さっているの、ただし核兵器を搭載するアメリカ軍の爆撃機なんかはどういう対象なのかというのは、これからの10年を占う上で、総合計画のなかにももう方向性を見いだしてもらえると安心してもらえるのかなと思いますのでより良い検討をお願いしたいと思います。以上です。

笹目委員長

ほかにございますか。

植木委員

これは執行部というよりは、わたしたちの対策特別委員会でせつかく委員会という形でありますので、今の鈴木議員のほうからお話ありましたし、又、執行部のほうから答弁ありましたように、市としてどのような対応といいますか思いというか、それというのはもう少しこの委員会でもしっかりと話し合っていくべきなのかなというのを感じましたので、そういった委員会のほうでやっていただければと思います。又、自分自身もこういう形でもう少し勉強しながら進めていきたいというふうに感じました。又、執行部に対しましては基地の存在という、又、ほんとに特異なこの市でありますので、少しでも安全にいい形で進めていけるように要望というだけではなくて、きちんとした回答というのをしっかりと求めるまで対応していかなければいけないかなと思いますので、その辺をお願いしたいと思います。以上です。

笹目委員長

ほかにございますか。

各委員

【「なし」と呼ぶ声あり】

笹目委員長

ないようですので、1番目の議題執行部のほうにしましてはさきほど来出ていますように、基地との連絡を密にさせていただき、又、こういう事故等があった場合には、この委員はもとより、各議員さん方にも執行部のほうから説明なりをしていただきたいたいというふうに要望しときます。

小松都市建設部長

分かりました。

笹目委員長

続いて2番目に入ります。その他でございますが事務局のほうから何かございますか。

富田書記

9月の定例会のときにお知らせしました、管外行政視察研修なんですけれども、2月15日から16日で、相手の行橋市さんのほうで受け入れOKが出ましたので、よろしくお願ひします。それから築城基地のほうはまだ了解が得られていないのですが、事前に入場者の名簿を下さいということで、本籍まで必要な名簿を出してくれということでしたので、事務局のほうに届けていただいている本籍が、事務局のほうに届けてある住所でない場合には声掛けて教えて頂ければと思います。詳細・日程等については、後日通知を出させていただきますのでよろしくお願ひします。

笹目委員長

2月15日、16日ということで視察でございますので、皆様方お忙しいと思いますが、是非ご参加いただきたいたいと思います。それと空港対策課のほうでは何かございますか。

小川空港対策課長

それでは、チャーター便の件について若干ご案内を申し上げたいと思います。既に皆様ご承知のところではございますが、年末から年始にかけて、(FDA) フジドリームエアラインズという会社、機体は80人乗り程度でございますけれども、静岡空港を基点として運行を行っている会社のほうで、12月29日年明けて1月1日、1月4日、1月7日と長崎ハウステンボスという企画でチャーター便を運行させていただきます。現在のところ、空港対策課のほうで県のほうから情報を得ている状況でございますが、12月29日、1月4日についてはかなり搭乗率が高い。1月7日については若干仕事はじめとの絡みもあって今、弱いので頑張っていきたいという情報を得ています。又、3月には11月に2回飛んでおりますが、やはり同じ(FDA)のほうで、種子島のチャーター便のほうを運行させていただくということで、情報をとってございます。日程は3月6日、3月9日、3月12日と3回のフライトで予定がそれぞれ組まれてございます。また3月上旬にこれまだ確定事項ではございませんが、別なあらたなチャーター便の予定もあるというようなお話も県の空港対策課のほうから情報をいただいているところでございます。空港対策課からは以上でございます。

笹目委員長

ありがとうございます。そのほかその他で、皆様のほうから何かございますでしょうか。

市村議長

この百里基地周辺自治体及び市町議会の連絡会、これはそういった事故とか万が一のことがいつあるか分からないので、まとまり次第なんとかうまく進めていただければ。それと何かあればこの5市町と一緒に要望やいろんなことを進めていければ防衛省でも何でも1市で行くよりは校果があるのかなと思います。さっき長島議員から出た銚田が新聞に載っていたという話し、実は長島議員から私のところに問合せがあって、その前にうちのほうは行って来たんだよという話しをしましたが、そういったことでその新聞に出た日に行方市も行ったのかな、そしたら行方のほうでもそれに対してちょっとこの前も基地にいったというお話がありました。そういうなかでは同5市町のなかで事務局は大変でしょうけれども、進められればお互いにいい形が出来るのかなと思いますので、そういう形を是非早く進めていただければ幸いですと思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。

笹目委員長

今、議長が申されたとおりその5市町で協議会を立ち上げていただいて、そういう要望事項をしっかりといただきたいたいと思います。

各委員

ほかにございますか。

【「なし」と呼ぶ声あり】

笹目委員長

ないようですので、副委員長のほうで閉会をお願いしたいと思います。

藤井副委員長

長時間に渡りまして慎重審議ありがとうございました。以上をもちまして百里基地・茨城空港対策特別委員会を閉会いたします。ご苦勞様でございました。

閉会 午前10時55分